

News Letter

vol.26
2019. 6月号

毎月発行

令和元年

今月のよっしー

県内各地で受け入れをいただいている地域包括ケア実習も終盤になってきました。今月号に寄稿されている岩切先生のところでも本当に工夫していただいております。御礼申し上げます。一方で、課題を抱える医学生もいるのも事実で、より良い成長を遂げられるように引き続き指導・支援をしております。

また京都で開催された日本プライマリ・ケア連合学会学術大会には宮崎県内から40名超の仲間が参加して、発表や意見交換、そして人材獲得作戦をかぶりモノをしながら全力でアピールしてきました。特に、病院職員や市町村、県職員の皆様の熱いサポートに感謝申し上げます。その成果が確実に出るように引き続き努力します。



教授 吉村 学

連載企画

臨床実習病院・診療所紹介「都城市郡医師会病院」

都城市郡医師会病院 副院長 岩切 弘直 先生

都城市郡医師会病院は、224床（一般病床220床、感染症病床4床）の二次救急医療機関であり、初期救急医療機関の都城夜間急病センターと24時間365日県西地域の中核病院として急性期医療を担っております。

以前から、各診療科でのクリクラは受け入れていましたが、地域包括ケア実習としての受け入れは初めてで、約2週間の実習をどのように計画するか最初は苦労しました。各診療科での実習は基より、地域医療連携室で患者様の退院支援に携わったり、併設している健康サービスセンターの検診車へ同乗してもらったりして、地域住民と直接会話し触れ合うことで、当地域の実情を少しでも理解してもらえればと思っております。将来この学生さん達が当地域で活躍することを期待しながら、今後も実習を計画していきたいと考えております。

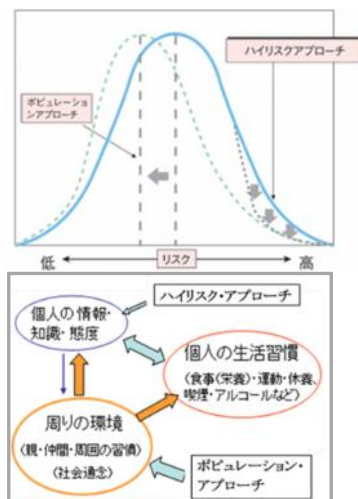


総合診療 Tips —総合診療にまつわる豆知識—

第8回 「地域の健康増進 ハイリスク&ポピュレーション・アプローチ」

健康障害をおこしやすい高いリスクを持った人を対象に絞り込んで対処していく方法を「ハイリスク・アプローチ」と言います。例えば、健診で高血圧を早期に見つけ降圧治療することで脳卒中になるリスクを減らす、といった感じです。一方、対象を一部に限定しないで集団全体へアプローチし、全体としてリスクを下げていこうという方法を「ポピュレーション・アプローチ」と言います。減塩食や適正な運動の普及啓発や環境整備といったことが当てはまります。血圧がそれほど高くなくても、脳卒中になる小さなリスクはあります。

「小さなリスクを負った大多数の集団から発生する患者数は、大きなリスクを抱えた少数のハイリスク集団からの患者数よりも多い」という予防医学のパラドックスという言葉があります。多くの方がほんの少しリスクを減らすことで（上図の山全体を左へ動かす）、全体には大きな恩恵もたらされます。ポピュレーション・アプローチによって周りの環境が変われば、個人に対してもプラスの影響が及ぶようになります。診察室でハイリスクな人に対応することも重要ですが、保健師などと連携しながら地域へもアプローチしていく、両方を適切に組み合わせて対策を進めることが重要です。



第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会に参加しました。

5月17日（金）～19日（日）、第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会が京都で開催されました。当講座からは吉村教授を筆頭にシンポジウムや学生企画での座長や発表、本学の家庭医療学生サークルFMIG所属の学生からもポスター発表（3演題）を行いました。

●5月18日（土）

①スポンサードシンポジウム1「地域で漢方を学びたい、医師を育てたいー現状と課題を考えるー」 吉村先生座長、川野綾子先生（講座専攻医）発表

②ポスター発表 「急性期脳梗塞遠隔支援システムを用いてtPAを地域病院で開始し専門医療機関に搬送した一例」 楠元恭子先生（講座専攻医）発表

③シンポジウム13「家庭医療学生サークル（FMIG）をもっともっと日本に増やそう、そして世界とつながろう」 吉村先生座長、増田博明さん（医学生）発表

④ポスター発表 「宮崎県における「むちゃぶり道場」の活動報告と今後の展望」 松本健吾さん（医学生）発表

●5月19日（日）

⑤シンポジウム教育講演「地域包括ケアシステム・多職種連携に何が求められるのか？ー今と未来を繋ぐ臨床現場と教育と研究の協働ー」 吉村先生座長

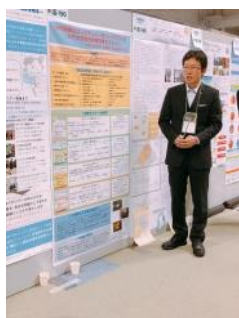
⑥ポスター発表 「総合診療のコンピテンシーをベースにつくる『みやざき総合診療四季セミナー』」 桐ヶ谷大淳先生発表

⑦ポスター発表 「ぬいぐるみから始まるロールプレイ学習 ～幼稚園時代から医療に興味を持ってもらうために～」 永田和己さん（医学生）発表

⑧ポスター発表 「医学科生の地域医療に対するイメージの改善と方法の提案と今後の展開」 加藤利佳子さん・下村小春さん（医学生）発表

そのほか、宮崎県医師確保対策推進協議会は企業展示ブースを出展し、県内医師確保のためのPRに熱心に取り組まれていました。

来年は広島で開催されます。来年の発表に向けてまた気持ちを新たにしたい学生もおりましたので、ぜひ頑張ってくださいと思います。参加されたみなさん、お疲れ様でした！



⑥桐ヶ谷先生発表



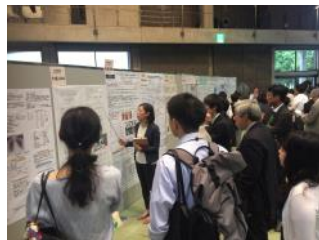
⑦永田さん発表



⑧下村さん、加藤さん発表



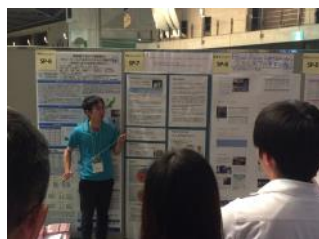
①川野先生発表、吉村先生座長



②楠元先生発表



③増田さん発表

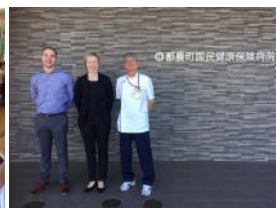


④松本さん発表

オレゴン健康科学大学・エミリーさんとの交流

京都での学術大会に参加されたアメリカ・オレゴン健康科学大学のFMIG（家庭医療学生サークル）前部長エミリーさんご夫妻を宮崎にお招きし、5月20日（月）に本学での英語の講義、夕方は本学FMIGとの交流会を開催しました。FMIG交流会ではエミリーさんの素晴らしいプレゼンをいただき、学生は深い学びを得ることができました。

翌21日（火）は都農町を訪問し、町内の視察や都農中学生との交流、国保病院での意見交換会をしていただきました。都農中では中学生による演武披露やエミリーさんのプレゼンなど盛りだくさんで、とても賑やかな訪問となりました。エミリーさんご夫妻のおかげでとてもすばらしい交流ができました。



講座のイベント情報

- レジデントデイ&プログラム説明会
6/28（金） 18:00～ 場所：日南yotten
- みさと地域医療塾&サマーセミナー
7/20（土） 13:30～ 場所：美郷町内
- ごちゃまぜ師養成講座フォローアップセミナー
7/31（水） 14:00～ 場所：ニューウェルシティ宮崎
- ごちゃまぜ師養成講座実践交流ネットワーク会議
7/31（水） 18:00～ 場所：ニューウェルシティ宮崎

※詳細はホームページやFacebookに順次アップします。

宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200 TEL:0985-85-9809 FAX:0985-85-9805

E-Mail : chiikiiry@med.miyazaki-u.ac.jp URL <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/community-medicine/>

